



2025年12月25日

日本鉄道労働組合連合会

交運労協第41回定期総会

持続可能な交通運輸・観光サービス産業の確立をめざす！

交運労協は10月9日、第41回定期総会を開催し、向こう1年の活動方針を決定した。

JR連合からは、上村良成会長が副議長、慶島譲治特別執行委員が事務局長、今井孝治事務局長が幹事として参画したほか、執行部と各単組から総会代議員、JR連合出身の地方交運労協派遣役員が出席した。



交運労協
池之谷議長

JR連合
上村会長

冒頭、挨拶に立った池之谷潤議長は、酷暑・猛暑の中、各地で発生した豪雨災害の被災者へのお見舞いと世界平和への願いを述べたのち、交通運輸・観光サービス産業を取り巻く情勢に触れ、2025春季生活闘争での賃上げ実績やトラック適正化二法成立の成果を強調し、人への投資の重要性を説いた。また、国の政策動向を踏まえ、政策実現に向けた政治力強化に言及し、産業の持続可能な発展を図るべく運動の強化を要請した。

来賓には連合の芳野友子会長、立憲民主党野田佳彦代表、国民民主党古川元久代表代行、推薦議員懇談会の近藤昭一会長、厚労省・国交省の代表者が連帯・激励のあいさつを述べた。

その後、事務局から報告と各議案の提起が行われ、質疑応答では、JR連合から福森敬和特別執行委員が「JR二島・貨物の経営自立」「新幹線ネットワークの構築・計画推進」について発言し、交運労協の力強い取り組みを要請。慶島事務局長からの答弁を経て、全ての議案が満場一致で承認された。

役員改選では、2012年よりJR連合から派遣し、交運労協事務局を務めた慶島事務局長が退任し、新たに蒔田純司事務局長（運輸労連出身）、そしてJR連合からは福森事務局次長を選出した。また、上村会長と今井事務局長が副議長・幹事にそれぞれ再選され、新体制が確立された。



退任した慶島氏

福森事務局次長

最後は池之谷議長による熱い団結がんばろうで閉幕した。

